



学校教育目標 「ふるさとに誇りを持ち、知性と社会性を身につけた子どもの育成」  
令和6年度重点目標 「聴き合い紡ぎ合い高め合う生徒の育成」



～“Try & Error”のある学びの中で～

## 子どもたち、がんばっています

その1



### 中体連陸上大会

八女地区陸上大会では、持てる力を出し切れずに悔しい思いをした種目もありましたが、筑後地区大会を経て、3種目で県大会出場を決めました。普段の学校生活での表情とはひとあじ違うキリッと精悍な顔つきで競技に向かっている姿が、とてもたのしかったです。

1年生部員も、「来年は僕たちも県大会いきますよ！」と、先輩の姿に刺激をもらっているようでした。

#### 八女地区4位以内 筑後地区出場

3年男子 100m	1位	○○	○
200m	3位	○○	○
3年男ハードル	4位	○○	○○
砲丸投げ	2位	○○	○○
	4位	○○	○○
3年男子3段跳び	2位	○○	○○



#### 筑後地区4位以内 県大会出場

3年男子 100m	1位	○○	○
200m	1位	○○	○
3年男子三段跳び	4位	○○	○○



県大会は、7月25日(木)・26日(金)

健闘を祈ります！

### 中体連総合体育大会

6月29日(土)から始まった中体連総合大会。多くの部が2日目に進出します。また、ソフトボール・野球は明日に延期となりました。結果については次号でお知らせ予定です。

天候不良で休校や試合延期となり、せっかく調整してきた体が思うようにいかないこともあるかと思いますが、気持ちをととのえ、全力で試合に臨んでほしいものです。応援しています。

どうわもんだいけいはつきょうちようげっかん  
**7月**は同和問題啓発強 調 月 間

最近、「アンコンシャス バイアス」ということばをよく耳にします。これは、「無意識の思い込みや偏見」のことです。多くは、過去の経験や周囲の意見、日々接する情報などからつくられるもので、誰もが持っているものです。もしかしたら、なにげなく無意識に言ったことばが、知らず知らずのうちに相手を傷つけてしまっているかもしれません。日頃から、「あれ？これって偏見かも？」と自分の言動を意識してふりかえることが大切です。学校でも7月10日に人権学習を行います。子たちには、差別のない社会のづくり手となってほしいと願っています。

**アンコンシャス・バイアス=「無意識の思い込み(偏ったモノの見方)」**

人は過去の経験や見聞きしたことに影響を受け、「この人は○○だからだろう」「普通○○だからだろう」と無意識に解釈して物事を瞬時に判断しています。これは脳の機能で、誰もが日常的に行っていることです。

しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、知らず知らずのうちに、相手を傷つけたり、自分や他人の可能性を狭めたりしてしまうかもしれません。



◆ 例えば、このようなことを思ったことはありませんか？  
これらは、日常にたくさんある「アンコンシャス・バイアス」の一例です。

雑用や飲み会の幹事は  
若手の仕事だ

Aさんは育児中だから  
簡単な仕事を任せよう

障がいのある人には  
○○はできなさそうだ

「私にはきっと無理だ」と  
挑戦する前から諦める

今まで避難したことは  
ないから、これぐらいの  
揺れなら避難なくて  
大丈夫だろう

「普通は○○だ」  
「それって常識だよな」

本当にそうかな???

**大切なのは「気付く」「学ぶ」「変わる」こと**